



「第48回静岡県小学生バレーボール大会」で準優勝 御前崎バレーボールスポーツ少年団

1回戦	御前崎バレー	2-0	深山クラブ (東部 10位)
2回戦	御前崎バレー	2-0	有度 (中部 4位)
3回戦	御前崎バレー	2-0	向山 (東部 2位)
準決勝	御前崎バレー	2-0	大井川東 (中部 1位)
決勝戦	御前崎バレー	0-2	つばさ (東部 1位)



PROFILE

御前崎バレーボールスポーツ少年団
現在の団員数は22人。17時30分から19時30分まで白羽小学校の体育館で練習している (火・金)
※来年度からは18時から20時となる

小学生最後の大会で結果出す

御前崎バレーボールスポーツ少年団から目が離せない。

同団は、10月に開催された「令和元年度静岡県スポーツ少年団交流会西部地区大会」で21チーム中2位となり県大会への切符を掴むと、11月に開催された「第48回静岡県小学生バレーボール大会」で準優勝という快挙を成し遂げた。今大会に出場したのは高塚友希さん、増田帆乃夏さん、増田波音さん、加藤世莉さん、ナヤー絵里沙さん、松井香里奈さん、小栗愛加さん、山崎琉楓さんの8人。

県大会には各地区から32チームが出場。初戦からストレート勝ちを重ねたものの、決勝戦では予選から他を寄せつけない強さで勝ち上がってきた東部地区のつばさ(長泉町)に力負けした。一方で、同団の県大会準優勝は昭和52年の設立以来初めてという。増田清司監督(白羽区)は「決勝進出が決まったときはみんな喜びました。大会中に子どもたちが内に秘めていた能力を垣間見ることができて

うれしかったです」と喜びを語った。

さらなる高みを目指して

同チームは、毎週火曜日と金曜日の17時30分から19時30分まで白羽小学校の体育館で練習に励んでいる。練習の時から①主体的にコミュニケーションをとる②勝つことを思い描く③スピード感を優先して取り組むことを念頭に指導していると話す増田監督。「このチームの特徴は、つなぐバレーができること。さらに小学生チームでは珍しいダブルセッターを採用していることで攻撃の幅が広い。エースのナヤーさんの得点力が高いことも強み」という。

キャプテンの高塚さんは「今まで練習してきた成果を発揮することができて良かったです。6年生になる前にチームで立てた東海大会入賞という目標が達成できなかったのが、中学校では県大会で優勝したいです」と次のステージを見据える。

来年から中学生となるこの8人。新しい進学先で気持ちを新たに練習に励む。